



わたしの夢

川俣小学校6年

齋藤

寿成 ひさなり

遺跡の発掘調査をする

考古学者になりたい

わたしの夢は、遺跡の発掘調査を行う考古学者になり、福島を盛り上げることです。私が考古学者になりたいと思ったのは、社会科の教員だった祖父に聞く日本の歴史の話がとても面白く、小さい頃から歴史についてとても興味を持ったのがきっかけです。将来、歴史関係の仕事に就きたいと、幼い頃から両親に言っていたので、今まで福島市のじょうもびあ宮畑や三内丸山遺跡などの県内外の遺跡や博物館に連れていってもらい、さらに深く学びたいと思うようになりました。そのため、川俣町の前田遺跡で貴重な発見があったときはとても嬉しく思いました。以前、前田遺跡の発掘体験に参加したことがあり、それまではガラスケース越しに見ていた綺麗な形の遺物がとても汚れていたり脆かったり、実際に自分の手で発掘できて、とても貴重な体験になりました。将来、考古学者になり、歴史の面白さや、昔の人が残したメッセージを多くの人に伝えていきたいと思っています。

町長のひとこと vol.17



今回は、毎週水曜日に中央公民館で練習をしている女性合唱グループのフラウエンコール川俣の皆さんのもとを訪ねてみました。氏家喜代美会長に現在の会の活動について尋ねると、「この会は音楽を通して、会員の生活・文化の向上と相互の親睦を図り、明るく住みよい町づくりに役立つことを目的にスタートしました。今年で創立55年になりますが随時会員募集中です」とのことでした。一時は40名を超える会員数を誇ったフラウエンコールも、高齢化と共に会員数も減少し、現在は10名で各種音楽会の参加に合わせて練習をしているとのことでした。7月には、3年ぶりに開催された「絹の里コンサート」への参加や「道の駅かわまたエールポスト完成式」での演奏会など、地域の音楽発表の場で活躍しています。健康づくりのためにも一緒に歌ってみてはいかがでしょうか。